

認知症初期集中支援チーム



看護師や精神保健福祉士などの複数の専門職がチームを組み、認知症専門医の協力を得て活動します。

－対象となる人－

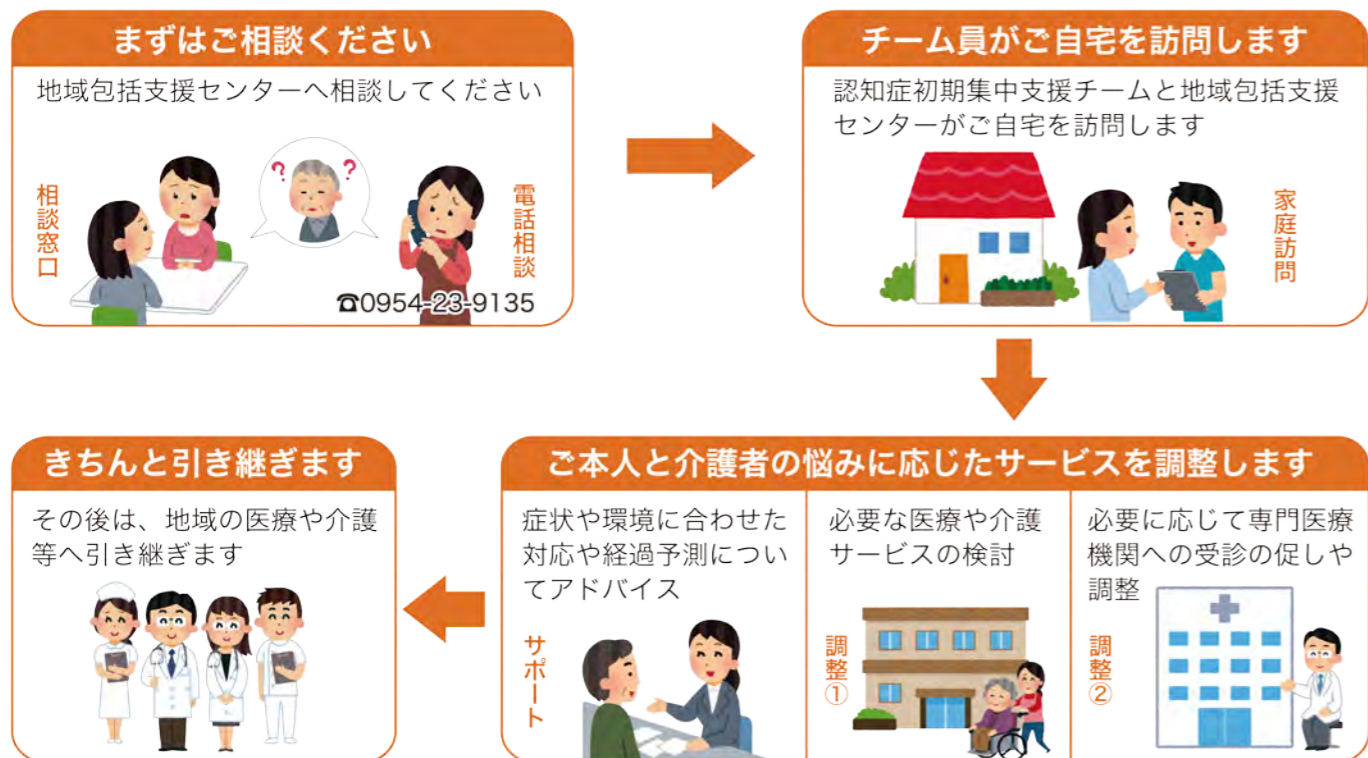
40歳以上の方で、在宅で生活されており、かつ認知症が疑われる、または認知症の方で次の①～④のいずれかに該当する方。

- ①認知症の診断を受けていない方
- ②継続的な医療を受けていない方
- ③適切な介護保険サービスを利用されていない方や、利用を中断している方
- ④認知症の症状が強いため、対応に困っている方

－活動内容－

認知症が疑われる方や認知症の方、及びそのご家族を訪問し、困っていることや不安なことを伺い、今後の対応を一緒に考えていきます。必要に応じて医療機関への受診や介護保険サービスへつなげるための支援を行います。

－支援の流れ－



早期発見・早期対応

認知症の早期発見・早期対応は、その後の認知症の方の生活を左右する重要なことです。しかし、独居であったり家族が受診を勧めても受診する気持ちにならなかったりと、早期治療に結びつかないケースもあります。今年度より、武雄市では「**認知症初期集中支援チーム**」(嬉野温泉病院認知症疾患医療センターへ委託)を設置し、認知症の早期発見・早期対応を推進していきます。



健康課 森永

気軽に相談を!

認知症とは

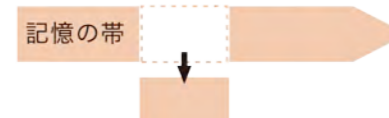
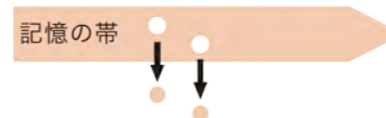
色々な原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活するうえで支障がおおよそ6カ月以上継続している状態。

答1：体験自体を忘れてしまいます

問1：物忘れと認知症の違いは？

老化による物忘れ

認知症による物忘れ



○体験の一部を忘れる
(例)「夜ご飯何を食べたかな?」

○体験の全体を忘れる
(例)「まだ夜ご飯食べていない!」



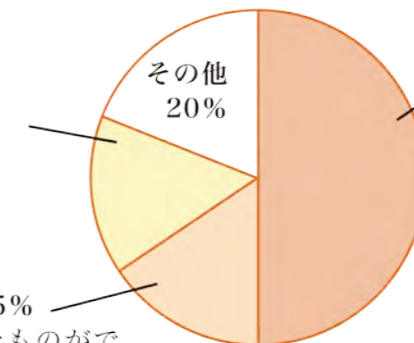
健康課 犬塚

問2：認知症には種類があるの？

答2：もっとも多いのはアルツハイマー型です

血管性認知症 15%
脳梗塞、脳出血などが原因で脳の血液循環が悪くなり一部が壊死してしまう。男性に多い。
(主な症状)
認知機能障害、手足のしびれ麻痺など

レビー小体型認知症 15%
レビー小体という特殊なものができ、神経細胞が死滅してしまう。男性にやや多い。
(主な症状)
認知機能障害、幻視・妄想 など



アルツハイマー型認知症 50%
もっとも多い症状。脳に異常なタンパク質が溜まり、脳が萎縮する。女性に多い。
(主な症状)
認知機能障害、物忘れ、徘徊、とりつくろい など

出典：認知症サポーター養成講座標準教材

問3：認知症は予防できるの？

答3：発症のリスクを少なくすることはできます

脳血管性認知症やアルツハイマー型認知症の予防には、運動・食事をはじめとする生活習慣病の予防が効果的です。

脳の活性化を図ることも効果的です。

- ①笑う ②話す、ふれあう
- ③役割や日課をもつ ④ほめる、ほめられる

市では認知症予防のため「シニア音楽サロン」や「頭の体操教室」を開催しています。興味のある方は、武雄市地域包括支援センターへ。

認知症チェック!

次の項目にいくつか思い当たればその行動は認知症の前触れかもしれません。
※このチェックだけで認知症の診断はできません。
気になる方は、医療機関を受診しましょう。

- さっきの電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度もする・言う・質問する
- 置き忘れなどが増え、いつも探し物をしている
- 財布や通帳などを盗まれたと人を疑う
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- 料理・計算・運転などのミスが多くなった
- テレビの内容が理解できない

(公益財団法人 認知症の人と家族の会作成より抜粋)

まずは知ることから

認知症についてどのくらいご存知ですか? これから増えていく認知症についてまずは正しく理解しましょう。